

一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回長与町議会定例会において、下記事項について質問したいから
通告します。

平成 26 年 2 月 19 日

議席番号(2 番)氏 名 安部 都 印

長与町議会議長 山口 経正 様

①障がい者福祉行政について

昨年 12 月、障がい者の差別禁止や社会参加を促す国連の障害者権利条約が国会で正式に承認され、批准されました。この条約は、「障がい者に基づくあらゆる差別の禁止」や、「障がい者の権利・尊厳を守ること」をうたっています。また、6 月には、「障害者差別解消法」が成立して、3 年後に施行されます。

権利条約は、国連加盟の 193 か国のうち、138 か国と欧州連合が批准しています。今まで主要 8 か国のうち、日本とアメリカだけが批准していませんでした。しかし、日本が批准したことで、これからは、世界に恥ずかしくない対応などが求められます。福祉制度や教育・障がい者が働く環境やバリアフリー化など改善をしていく必要があります。

そこで、以下の点についてお聞きします。

- (1) 町内公共施設・公園・トイレ・駐車場などのバリアフリー対策はどれほど改善されたか伺う。
- (2) 「長与町福祉のまちづくり条例」を制定する考えはないのか伺う。
- (3) 長崎県の「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例」が制定された。県下の市町は、この条例に基づいた対応をしていく必要があるが、本町の考えを伺う。
- (4) 今年度開催される「がんばらんば国体・大会」での障がい者へのおもてなし対応は十分配慮・検討されているのか伺う。
- (5) 福祉医療費助成の現物給付制度についての進捗状況を伺う。

②本庁の休日開庁について

- (1) 休日開庁を行うようなことを聞いたが、今年から開庁するのか町長の見解を伺いたい。

一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 4 回長与町議会定例会において、下記事項について質問したいから通告します。

平成 25 年 11 月 13 日

議席番号 (2 番) 氏 名 安部 都 印

長与町議会議長 山口 経正様

①教育行政について

昨今、学校や子供たちを取り巻く環境も社会の変化と共に複雑化・深刻化しています。学校現場では、教育条件整備や入試改革が進まないなか、国際社会・情報社会に生きる子供たちにとって必要な平和・人権・環境・共生の教育は必要不可欠であり、「点数学力」を競い合うことや、互の人権が尊重されないなど「いじめ・体罰問題」など多くの課題を抱えています。そのことを踏まえ、下記の質問を伺う。

- (1) 全国学力テスト等の本校の状況はどうか伺う。
- (2) 文部科学省は、来年度から学校別平均点の公表を市町村にも検討すると思うが、町の見解はどうか。
- (3) 教職員の時間外過重労働はどうか。もしあるなら、改善点はあるのか。
- (4) 本町の中学校での「乳幼児親子ふれあい体験」の実施の検討はないのか伺う。
- (5) 男女混合名簿の実現に向けてのこれからの検討はないのか伺う。
- (6) 本町での教育方針は何か。30 人以下の学級編成が望ましいが、これについての見解を伺う。

②高齢者見守り事業と地域支え合い ICT モデル事業について

- (1) 社会福祉協議会との連携による住民参加による「高齢者見守り事業」や地域支え合い ICT モデル事業の取り組み状況はどうか。
- (2) 福祉委員は、現在毎月、ボランティアで献身的な活動を実施しているが、通信費など自己負担をしている。予算確保はできないのか伺う。
- (3) ICT による高齢者見守りと、災害時要援護者支援マニュアル作成とのコラボにより住民・民間事業所など地域と連携し、支援体制づくりをどのように繋げていく予定なのか伺う。

一 般 質 問 通 告 書

平成25年第3回長与町議会定例会において、下記事項について質問したいから
通告します。

平成25年8月20日

議席番号(2番)氏名 安部 都

印

長与町議会議長 山口 経正 様

①生活保護制度の改正に伴う影響について

- (1) 町立高田保育所の職員数は、足りているのか。もし、足りなければ
今後、保育士の増員も視野にいれ検討するのか伺う。
- (2) 少子化対策についての取り組みを伺う。その対策の一助として保育
料の負担軽減もあると思うが、検討はどうか伺う。
- (3) 待機児童対策はどうか。今後、榎の鼻地区などの団地が増えたら子
ども数も増えると思うが、対応策はできているのか伺う。
- (4) 本町での幼稚園・保育園の「認定こども園」導入はあるのか。今後
の町の関わりと影響はどのようなになるのか伺う。

②障害者施策に関わる助成について

- ③4月より難病者と精神の患者が加わったが、現在の取り組みはどうか。
- ④難病者の支援区分は、どのような仕組みとなり、誰が支援区分調査実施
するのか。
- ⑤精神障害・知的障害者に対する、地域生活支援事業の必須事業として市
民後見人(成年後見制度)の人材育成・活用を図るための研修を行わな
ければならないが、周知し計画していくのか伺う？

一 般 質 問 通 告 書

平成25年第2回長与町議会定例会において、下記事項について質問したいから通告します。

平成25年5月20日

議席番号(2番)氏名 安部 都

印

長与町議会議長 山口 経正 様

①少子化対策と子育て支援について

急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化の中、今年の子どもの出生率は、1、39%となった。まさに国益に伴う深刻な日本の問題でもある。また、子どもを預ける保育所の待機児童は、全国で2万5000人存在し早急に解決すべき課題でもある。保護者や地域の多様なニーズに応えるため、H18年10月から「認定こども園」制度がスタートした。そこで、本町の今後の少子化対策とより良い幼稚園や保育所のあり方について伺う。

- (1) 町立高田保育所の職員数は、足りているのか。もし、足りなければ今後、保育士の増員も視野にいれ検討するのか伺う。
- (2) 少子化対策についての取り組みを伺う。その対策の一助として保育料の負担軽減もあると思うが、検討はどうか伺う。
- (3) 待機児童対策はどうか。今後、榎の鼻地区などの団地が増えたら子ども数も増えると思うが、対応策はできているのか伺う。
- (4) 本町での幼稚園・保育園の「認定こども園」導入はあるのか。今後の町の関わりと影響はどのようになるのか伺う。

②風疹ウイルス感染の予防と対応策について

国立感染症研究所の発表によると今年の全国の風疹患者数が4月28日付けで、累計5000人を超えた。本県の新規患者は、5月14日時点で、3月～4月に8人発症。これから感染者が拡大される懸念もある。そこで、本町の風疹感染を防ぐための取り組みと今後の対応策について伺う。

- (1) 本町において風疹ワクチンの公的補助の考えがないのか伺う。
- (2) まだ、風疹ワクチンをうけていない未接種者に対するこれからの対応策はどうするのか伺う。
- (3) ワクチンを受けるよう住民に対する周知徹底をどのように行うのか伺う。